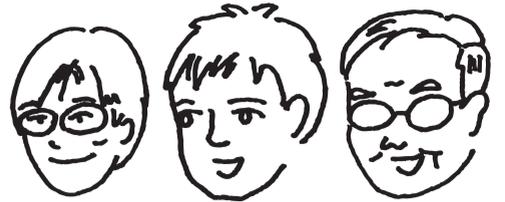


議会だより



2020年3月議会号

2020(R2)年度 一般会計当初予算

1,916億6,600万円

歳入の特徴

- 市税が(個人市民税・法人税共に)減少し、景気悪化は顕著。過去最高の予算規模に対し、地方交付税はほぼ同額である一方、地方消費税交付金が増加(131億2,200万円:対前年比137.1%増)。消費税頼みの予算となっています。
- 市債は189億8,810万円(対前年比112%増)で、借金も増加。地方交付税の増額こそ必要です。

市民負担が増える中、公共施設の利用料なども増税で値上げ。逆進性の強い消費税には反対です!

賛成した歳出予算

- 児童育成クラブの拡充 3千800万円
- 避難所の機能強化 1億900万円
- 鉄道駅のバリアフリー化 3億5800万円
- 給付型奨学金拡充(20名増) 3,000万円
- 児童相談所設置検討の取組 3,000万円

これまで党議員団が要求した内容が反映されている点は評価

反対した歳出予算

- マイナンバー関連予算 4億5,418万円
- 前年度の1億5,900万円から大きく増加。システム改修の他、証明書のコンビニ交付など市独自の取組でも支出増。マイナンバー制度そのものにも反対!
- 同和事業予算 3億765万4千円

不公平な利権につながる部落差別問題に特化しており問題

- 豊予海峡ルート推進事業 1,657万円、加えて「大分市豊予海峡交流促進事業補助金」として60万円の新規事業も!
- 「新たなモビリティサービス事業」自動運転の実験運行など関連予算に6,000万円超!
- 「祝祭の広場機能強化事業」に8,070万円 大型LEDビジョン(6,000万円)の設置、イルミネーションやイベント開催などの予算
- その他、企業立地推進事業(大企業優遇)、有料指定ごみ袋事業、新環境センター整備事業などに反対しました。



大分市民の新年度予算を決める、第1回定例会が行われました。通常国会の開会中、新型コロナウイルス感染症拡大という、かつて経験したことのない中での議会論戦となりました。

党議員団を代表して岩崎議員が総括質問に立ち、憲法・気候変動・原発問題などの国政の重要課題について市長の政治姿勢をただすとともに、暮らし・福祉・教育など、市民生活を支える予算への組み替えや、市民から寄せられた切実な要求実現を求めました。

会派代表の 総括質問



いわさき
たかひろ 議員

消費税は5%に減税を

生命保険を解約し、貯金を崩し、ギリギリの生活をしている業者さんもいる。その上、資材の高騰。たとえ消費税を転嫁できてもその分、工賃や単価が抑えられている。消費税10%では廃業に追い込まれる業者が続出する。消費税は減税すべきと考えるが市長の見解は、市長・消費税の増収分は、幼・保育無償化をはじめ、社会保障制度の充実策のほか、財政再建にも充てられている。将来世代への負担軽減を期待している。

「原発ゼロ」の日本に

高コストによる企業の撤退、運転差し止めを命じた広島高裁の決定など、原発推進政策は破綻している。原発再稼働中止、「原発ゼロの日本」を実現させ、再生可能エネルギーを中心とした、新しいエネルギー政策の確立を政府に要求すべきと考えるが市長の見解は、市長・エネルギー政策は、国が所管する重要な政策である。国に対し原発の即時廃止を求めていくことは考えていないが、安全確保に努めていただきたいと考える。

国保税の引き下げを

大分市の国民健康保険の加入者は、4割が年金生活者、3割が非正規労働者で、低所得者が多く加入する医療保険である。自営業4人世帯の平均保険料は、同じ年

ばいじん対策の強化を

ばいじん被害は、住民の生活環境にかかる大きな負担である。対策が一定進んだことは評価できるが、住民の苦難は解決されていない。市、県と企業の間で交わされた月6トンの管理目標値は見直し、強化が必要ではないか。



住宅地に隣接する日本製鐵

その他、ジェンダー平等、核兵器禁止条約、教員の増員なども取り上げました。

2019(R元)年度
3月補正

8億8,800万円
(補正後:1,902億6,200万円)

うち、マイナンバー
関連予算に反対

議会で問題となった、「スポーツ・オブ・ハート2020」の事業予算(1,646万円)って…?

前年度の決算審査で、補助金について疑義が出され、次年度は終了となった事業。他会派が出した修正(事業費を予備費として計上する)案は本会議で否決。党議員団は、共生社会(ノーマライゼーション)への取り組みは重要だが、補助金1,500万円は有名人・芸能人の出演料が主であり、市民の手で作る独自の取り組みにすべきとして、最後まで反対しました。

賀来幼稚園の廃園は見直しを



さとうゆみこ議員

【要旨】 現在、大分市は児童相談所設置を検討中だが、重要な連携施設である児童養護施設に隣接する賀来幼稚園が4月で廃園となる。幼稚園存続を望む958筆の署名も提出されており、地域の重要な社会基盤として、実情を勘案すべきだ。廃園は見直しすべきと考えるが見解は？

子どもすこやか部長…廃園は市の定めた統廃合基準に基づいており、例外規定は適用されない。地域や養護施設には丁寧に説明し、ご理解頂いた。

【要旨】 介護保険料の独自減免の周知を分かりやすく改善し、預貯金額の制限を引き上げ、減免の対象を拡充すべきと考えるが見解は？

福祉保健部長…減免制度については、今後、他

都市の表記も参考に、市民目線に立つて周知できるように研究していく。現在、減免条件の1つとなっている、世帯全員の預貯金額150万円以下の条件については、今後の策定委員会で、広く意見を伺いながら議論していく。

民生・児童委員の活動費引き上げは

【要旨】 近年、地域課題は複雑化・多様化し、地域福祉の責任や負担が増大している。民生・児童委員の活動費を引き上げてはどうか？

福祉保健部長…本市では、一人一律年間15万円を支給しており、中核市においては比較的高い水準となっている。現在、協議会から引き上げの要望はないが、今後、活動にかかる負担軽減などと併せて協議していく。

その他、個人情報保護、会計年度任用職員の給与、DV被害者支援（民間団体との連携）強化、市営住宅の入居にかかる負担軽減などについても質問しました。

伊方原発3号機 運転差し止めの司法判断の評価は



ふくまけんじ議員

【要旨】 四国電力伊方原発3号機について、1月17日に広島高裁が出した「原発近くの活断層調査が不十分であり、火山噴火の影響も過小に見積もっている」との認定や、「運転してはならない」とする司法判断についての評価、中央構造線断層帯についてどのように認識しているのか？また、伊方原発で相次ぐ事故原因の究明、再発防止策などについての見解は？

総務部長…裁判の評価については、係争中であり答弁を差し控える。昨日、四国電力で連続発生したトラブルの原因と対策についての報告書が提出された。四国電力には、安全対策に万全を期してもらいたい。

基数減・出力アップー佐賀関半島の風力発電事業

2社で計画されている26基の風力発電の設

その他、確認書が無視した米軍の日出生台での軍事演習中止、日米貿易協定による大分市農業への影響と被害、保育所の入所要件、学習支援が必要な子どもたちへの対応についても質問しました。



日出生台での軍事演習

置について、隣接した民家との距離はどの程度か。また、(仮称)大分・臼杵ウインドファーム計画は、一部住民の同意が得られず計画が変更されたと聞いているのか？

環境部長…(仮称)大分・臼杵ウインドファームは、風力発電施設から一番近い民家までの距離が、大志生木地区で約800m、一尺屋地区で約1kmで、当初予定されていた2000KWの風車は調達が困難となった為、1基あたり3200KWまたは3600KWの風車を、13基から8基に変更する予定と聞いている。

各議員の一般質問

新型コロナ対策(第1次分)を市長に要望

新型コロナ問題について実施したアンケートなどをもとに、飲食店などへの経済支援、マスクや消毒液の提供、医療・検査体制の拡充、児童虐待・DV被害者への支援など、市長への申し入れを行いました。



4月27日に臨時議会を開催

コロナ対策、28億4,300万円の補正予算が成立

《主な内容》

- 飲食店など小規模事業者の家賃補助 7億7,800万円
- 「発熱外来専門医療機関」の設置 7,000万円
- ドライブスルー方式でのPCR検査 4,700万円
- PCR検査体制強化 約1,900万円
- 医療機関へマスクなど支援 約3億4,400万円
- 家計が急変した世帯への就学援助 約3,500万円
- 救急搬送の感染防護 2億2,400万円 など

党議員団は
予算案に
賛成しました

今後も、国への財政支援拡充を求め、市に対して感染防止対策や休業補償などを要望していきます。

2020(R2)年第2回定例会は6月8日から22日の予定です。



←日本共産党大分市議団サイトはこちら
☆議会の質問の詳細もこちらでどうぞ!
〒870-8504 大分市荷揚町2-31 大分市議会内
直通TEL097-537-5695/FAX097-537-5791

5年ごとに策定される 大分市政の「総合計画」に反対

党議員団は、「総合計画」について42項目の意見を提出。

●反対した主な点は…

自治体の機能を統合・縮小させる「広域連携と圏域行政」推進
市民犠牲の「行政改革推進」(学校給食調理の民営化、
公立の幼稚園と保育所の統廃合、PFIの導入など)
「豊予海峡ルート推進」「マイナンバーカードの普及・拡大」
「不公平な同和事業」など

○加筆・修正を求めた点は…

「消費税減税」「原発ゼロ」「社会保障制度の拡充」
「すべての子どもへの医療費助成」
「待機児童解消と保育の質の確保」
「ワンコインバス事業の復活」「ジェンダー平等の推進」
「教職員の増員と少人数学級の拡充」「中小業者の財政支援」
「公営住宅の改善」「ばいじん公害対策促進」など

控え室から

事務局:吉光 友美

こんにちは。今回の3月議会、様々報道もされましたが、当初予算の一部に修正案が出されるという見応えある展開に。ところが、修正案を出した議員が、結局原案に賛成するとは…?一貫性のなさに疑問を持ちました。今回、初の総括質問に立った岩崎議員は、気合い十分!ぜひ市議団サイトをご覧ください(^^)

さて、今回の吉光アイは、請願・陳情について。今回出された「補聴器の補助制度を国に求める意見書」の請願は、実現すればたくさんの高齢者が助かるのに継続審査。「賀来幼稚園の存続を求める陳情」は、子どもたちのための純粋な要望なのに不採択。もちろん、党議員団はどちらにも採択を求めました。
市民の切実な要望に対して、行政や議員のまなざしはどこを向いているのか?気になります。